

ARCUS

Artist In Residence - IBARAKI

現在のアート・芸術文化を守谷から。

●問合先 アークススタジオ (もりや学びの里内)
日・月曜日休館 ☎ 46-2600 (10:00 ~ 18:00)
✉ arcus@arcus-project.com
◎詳細な情報はアークスプロジェクトで検索!

オンライントーク
「なぜ、精神科医療にアート
が、アートに精神科医療が、
必要なのか？」

アークスプロジェクトは、昨年度から精神科医療に取り組む袋田病院(大子町)と協働し、現代アートと医療を橋渡しする事業を行っています。この先駆的な試みにおいて、どのような議論が繰り広げられているのかを知っていただくオンライントークを実施します。今年度のプログラムでは、同じく精神科医療と地域社会との協働に取り組む都立松沢病院をはじめ、アーティストやキュレーターを交え、両分野における協働の可能性を追求するた

めの勉強会を実施しました。今回のオンライントークは、その報告会になります。「アートとは何を意味するか」「精神科医療において、アートは誰に對しどのような働き掛けをしているか」「現場医療従事者やアーティスト、キュレーターの具体的な役割」などについて考えを深めます。ごなたでも参加できますので、ぜひお気軽にご予約ください。

▼日時 12月4日(金)午後4時30分〜6時15分 ▼登壇者 今井朋氏(アーツ前橋学芸員)、川上伸太郎氏(松沢病院精神科医)、渡邊慶子氏(袋田病院アート事業担当/作業療法士)ほか ▼聴き手 小澤慶介(アークスプロジェクトディレクター) ▼料金 無料 ※要予約



袋田病院アトリエホロスでの表現活動視察の様子
写真提供…アトリエホロス

アーティスト・イン・レジデンスプログラム報告会開催

アーティスト・イン・レジデンスプログラムに参加した3組のアーティストによるリサーチの報告会を行います。アメリカに在るイエヴァ・ラウドウセバ、オランダに在るミロナリウをインターネットにつなぎ、オル太を会場に迎えて、彼らのプロジェクトの今後の展望について、小澤ディレクターがアーティストと話します。今年度の3組のアーティストを交えた最後のイベントになりますので、ぜひご参加ください。



オル太 守谷の農家さんの視察

アートカレッジ
「アートにおけるパフォー
マンスの歴史」

国内外のアートシーンでは、この20年の間に、ますますパフォーマンスが注目されるようになってきています。そうした今に至るパフォーマンスの流れを分かりやすく読み解きます。

第二次世界大戦後、世界の各地で見られた身体表現や行為(アクション)から始まり、1960年代にアメリカでフェミニズム運動の高まりとともに生まれた表現、1970年代東欧の社会主義政権下におけるコンセプチュアルな表現、アーティストの指示のもとに他者が行為を行う1990年代以降の動向まで、社会状況とともに展開したパフォーマンスとその変遷について考えます。

▼日時 11月21日(土)午前11時〜午後0時30分 ▼会場 アークススタジオ(オンライン同時配信) ▼講師 外山有菜(アークスプロジェクトコーディネーター) ▼受講料 1500円 ※要予約

有料広告スペース

(WEB版では広告を掲載しておりません)